2026年度 人権学校

※参加無料

今年度の人権学校は、メインテーマを『世界から見た 日本のヒューマンライツ（人権）』にしました。
少しむずかしそうなテーマ・ことばに感じられるかもわかりませんが、まさしく今、私たちが生きているこの日本の社会は、世界から見て人権的にはどのようなレベル（状況）なのか。一般的にいわれているように本当に〝人権後進国〟なのか？！ 国際的な各種人権機関などからどんな〝評価〟を受けているのか？
また、知っているようで本当は知らない〝人権〟とは何なのか？ 今回のテーマについて、その専門分野からお2人の講師をお招きし、みなさまと共に学び合いたいと思います。

メインテーマ

※事前申し込み不要

『世界から見た 日本のヒューマンライツ』

❶11月11日(水) 午後1時30分～3時30分

※定員 40人



「国際人権基準からみた日本の人権状況」

講師 藤本（ふじもと） 伸樹（のぶき） さん

ヒューライツ大阪（一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター）主任研究員

＜講師プロフィール＞
大学卒業後、民間企業勤務(営業職)を経て、フリーライターとして雑誌などに投稿。
1988年から1994年までフィリピンに滞在した経験を持ち、現地の市民団体と協力しながらODA（政府開発援助）や移住労働の課題に取り組んだのち、1996年から部落解放・人権研究所を経て、2001年4月からヒューライツ大阪の研究員を務める。また、近畿大学などの非常勤講師も歴任し、国連の人権基準と、日本国内における外国人やマイノリティの現状を結びつけるテーマにした講演や学習会、執筆活動を幅広く展開されている。

❷12月12日(土) 午後2時30分～4時30分

※定員 100人



『世界から見た 日本のヒューマンライツ』

～武器としての国際人権～

講師 藤田（ふじた） 早苗（さなえ） さん

（英国 エセックス大学・人権センターフェロー／写真家）

☞詳しくは⇒裏面を

★会場はすべて川西市総合センター （川西市日高町1-2）

■主　　催　川西市人権啓発サポーター会・人権推進多文化共生課
■後　　援　伊丹人権擁護委員協議会川西部会・川西市人権教育協議会
■手話・保育ご希望の人は、①は11月4日 ②は12月4日までに人権推進多文化共生課まで予約を

【問い合わせ】 川西市人権推進多文化共生課 TEL 072-740-1150



2026 年度　人権学校

世界から見た日本のヒューマンライツ

～武器としての国際人権～

講師　藤田（ふじた）　早苗（さなえ）さん

英国・エセックス大学・人権センターフェロー。写真家。同大学で国際人権法学修士号、法学博士号取得。名古屋大学大学院国際開発研究科修了。大阪府出身、英国在住。 著書：『武器としての国際人権―日本の貧困、報道、差別』（2022 年集英社新書）
日本の人権状況向上を切望し、国際社会に日本の人権問題について知らせ、日本に国際人権を伝えるために奔走しているアカデミック・アクティビスト

◎12 月 10 日は 世界人権デー



日時　2026 年 12 月 12 日(土)14:30～16:30　開場 14:00
※終了後 30 分程度、希望者で講師との交流あり

会場　川西市総合センター・3 階体育室
（川西市日高町 12-1）

主催　川西市人権啓発サポーター会
川西市人権推進多文化共生課

●参加費無料ー事前申し込み不要ー定員 100 人

●手話通訳、一時保育（1 歳半以上未就学児、先着 8 人）は要予約
（※12 月 4 日までに下記へお申し込みください）

●予約・問い合わせ先
川西市・人権推進多文化共生課　☎072-740-1150
メールアドレス：kawa0014@city.kawanishi.lg.jp

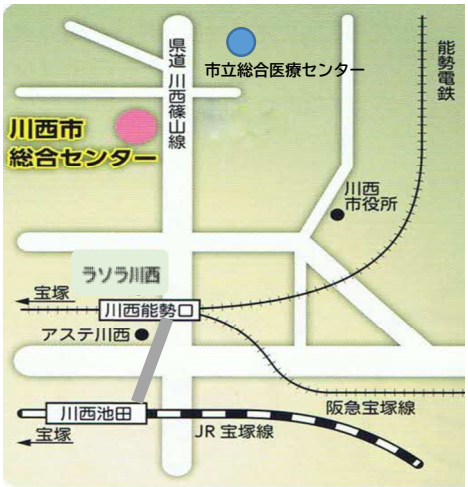
日本の常識は世界の非常識？

今まで学校で「人権」について深く学ぶことはありましたか？
国際社会から日本の人権状況はどのように見えていると思いますか？
〝人権後進国〟といわれている？私たちの日本は、国連（人権理事会）や国際（条約）機関から、どんな「勧告」を受けているか知っていますか？

○国内人権機関の設置　○差別禁止法の制定　○ジェンダー差別の是正
○死刑廃止　○分離教育の中止　○入管制度の是正　○外国人労働者の権利確保など
・・・（約 300 項目）

そもそも、人権ってなに？「人権」と「思いやり」はどう違うの？
どうせ「国際人権法（条約）」は裁判（司法）では使えないのでは？

・・・人権分野のベストセラー『武器としての国際人権』の著者で、20 年以上にわたり国際人権機関で活躍されている英国在住の藤田さんが、動画や英国の例などを用いてわかりやすくお話しします。　ふるってご参加ください！



※川西能勢口から北へ 650m 徒歩 約 10 分
※駐車場は限りがあります。

後　援　伊丹人権擁護委員協議会川西部会／川西市人権教育協議会